

情報公開文書

S25-31

研究課題名	当院ドックにおける非肥満者の非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の罹患率とリスク因子
研究対象期間	西暦 2011年 4月 1日 ~ 西暦 2012年 3月 31日
研究の目的と意義	本邦および東アジアにおいて非肥満者(BMI<25)の NAFLD は一定存在しますが(1, 2)、その危険因子とくに生活習慣についての詳細な報告 (3) は少数です。また肥満者の NAFLD の治療の第一選択は減量ですが、非肥満者 NAFLD の治療は確立されていません。その治療に役立てる目的で、肥満と非肥満の NAFLD の危険因子の違いを比較検討しました。
研究方法	対象:2011年4月から2012年3月まで1年間のドック受診者5433名中、不適格例と日本酒換算1合/日以上飲酒例を除いた3271例。方法:脂肪肝は腹部超音波検査所見から消化器専門医が診断、BMI \geq 25を肥満、BMI<25を非肥満と定義した。ドック基本項目である血液生化学検査値、特定健診の血糖・脂質・血圧リスク評価、厚労省指定の特定健診質問票の生活習慣12項目、服薬歴、既往歴等を検討因子として、男女別に生活習慣12項目のみと全因子について2通りの解析を行い、NAFLDの危険因子を同定しました。また、当ドックにおける非肥満NAFLDの罹患率も検討しました。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	<p>【研究責任者】</p> <p>京都第二赤十字病院 健診部</p> <p>副部長 西大路 賢一</p> <p>〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5</p> <p>TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)</p>